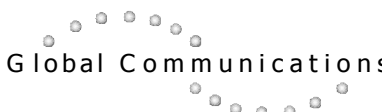


無線 LAN
JRL-710/720 シリーズ
ファームウェアバージョンアップマニュアル
<2.0 版>

Global Communications

 **日本無線株式会社**

<http://www.jrc.co.jp>

目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. バージョンアップをする前に..... | 2 |
| 1. 1 用意するもの..... | 2 |
| 1. 2 接続の確認..... | 3 |
| 2. バージョンアップ手順..... | 6 |
| 【手順1】 : | 8 |
| 【手順2】 : | 10 |
| 【手順3】 : | 13 |

本書は、無線 LAN JRL-710/720 シリーズ（以下「無線 LAN」とします）のファームウェアをバージョンアップするための操作マニュアルです。

⚠ 注意

本書は、これからバージョンアップしようとする無線 LAN で既に動作しているファームウェアが release0302 以降のバージョンに対応したものです。Release0301 以前の場合、「JRL-710・720バージョンアップマニュアル_第1版」を参照ください。

1. バージョンアップをする前に

1.1 用意するもの

- ・作業用 PC (Windows XP / 2000, ネットワーク I/F あり, VB スクリプト実行可能)
- ・バージョンアップ用ファイル

(「releaseOxxx.exe」の名称の圧縮ファイルを解凍すると下記ファイル構成となります)

[update_init フォルダ]

jrl-710_system.bin
put.cmd
start.bat
update.vbs

本マニュアルの手順では使用しません

[update_new フォルダ]

jrl-710_2nd.bin
jrl-710_file1.bin
jrl-710_system.bin
put.cmd
start.bat
update.vbs

本マニュアルの手順で使用します

1. 2 接続の確認

ファームウェアのバージョンアップを開始する前に、無線 LAN と作業用 PC がネットワークで正しく接続され通信できることを確認してください。

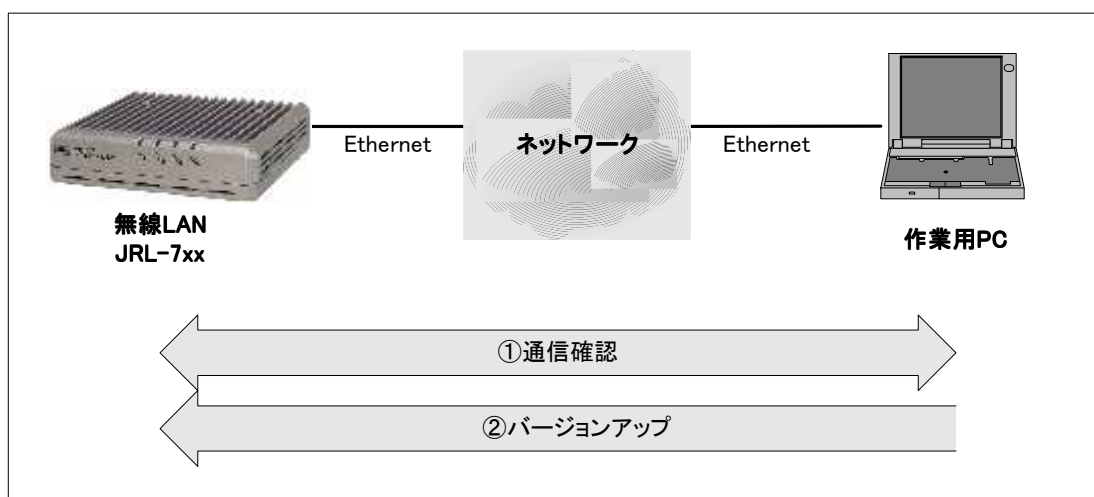


図 1-2-1 接続例

・通信確認

作業用 PC のコマンドプロンプトから「ping コマンド」を実行し、無線 LAN と正しく通信できることを確認してください。

Windows2000 の場合、[スタート] メニューから [プログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。

WindowsXP の場合、[スタート] メニューから [すべてのプログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。

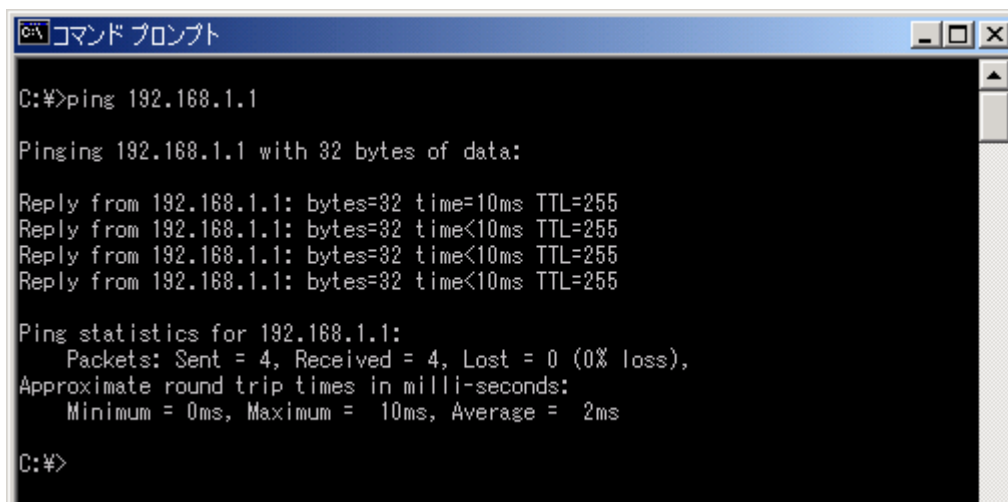
(無線 LAN の IP アドレスが「192.168.1.1」の場合)

作業用 PC の IP アドレスを 192.168.1.xxx (xxx は 1 以外) に設定してください。

コマンドプロンプト画面で “ping 192.168.1.1” と入力してください。

※「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

正しく通信できると、下図のような応答が表示されます。



```
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

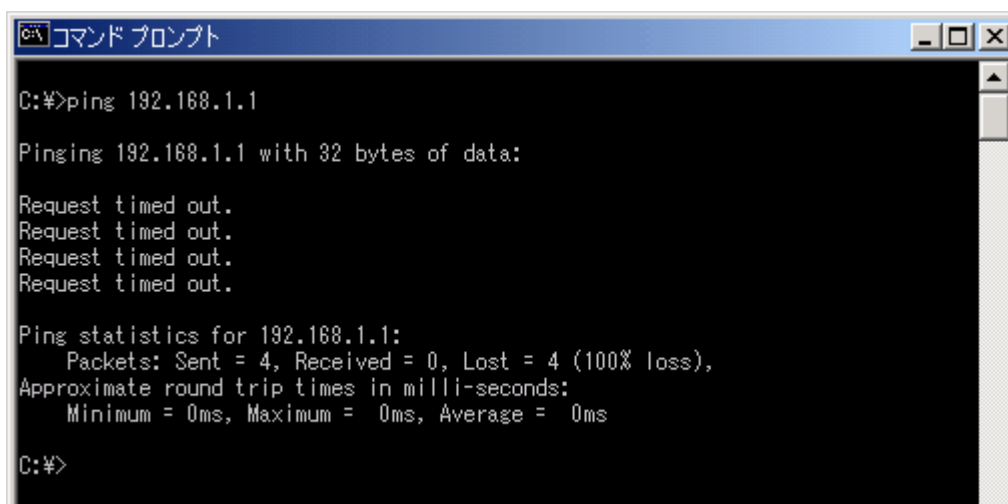
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time=10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 10ms, Average = 2ms

C:\>
```

図 1-2-2 ping による通信確認—正しく通信できる場合

正しく通信できない場合、下図のような応答が表示されます。



```
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

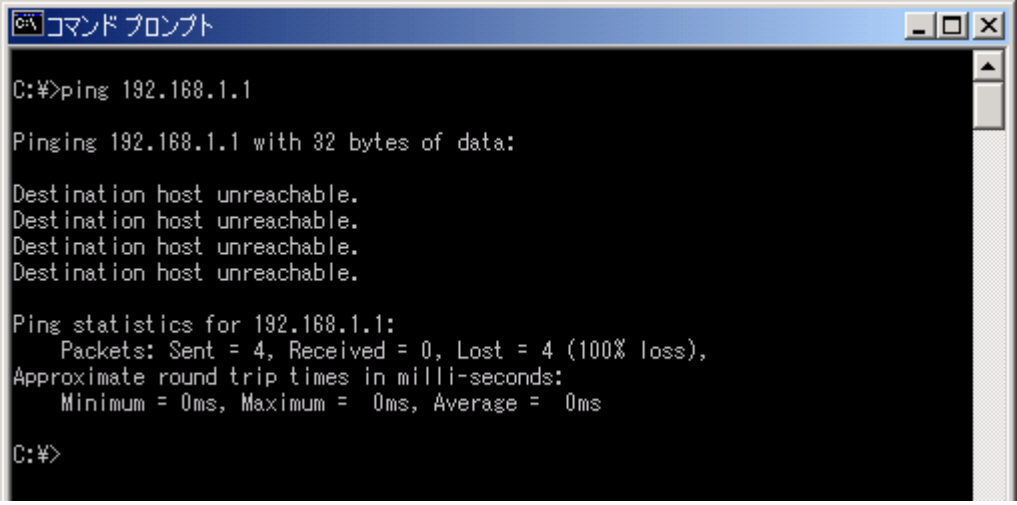
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

図 1-2-3 ping による通信確認—正しく通信できない場合 1

この場合は LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

A screenshot of a Windows Command Prompt window titled 'コマンド プロンプト'. The window shows the execution of a ping command: 'C:¥>ping 192.168.1.1'. The output indicates that the destination host is unreachable. The statistics show 4 packets sent, 0 received, and 4 lost (100% loss).

```
C:¥>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Destination host unreachable.
Destination host unreachable.
Destination host unreachable.
Destination host unreachable.

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:¥>
```

図 1-2-4 ping による通信確認—正しく通信できない場合2

この場合は無線 LAN と作業用 PC の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

正しく通信できない場合は、無線 LAN の「E-LINK」LED 状態や、コンピュータの IP アドレス等を確認してください。

2. バージョンアップ手順

無線 LAN のファームウェアをバージョンアップするためには、初期化モードと呼ばれる専用動作で無線 LAN を起動しなおす必要があります。初期化モードは release0302 以降のファームウェアから起動可能となっています。

注意

これからバージョンアップしようとする無線 LAN で既に動作しているファームウェアが release0301 より以前のバージョンである場合、「JRL-710・720バージョンアップマニュアル_第1版」の手順に従ってください。

注意

また、バージョンアップ後の無線 LAN 設定に関して、IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイ設定のみ引き継がれますが、それ以外の設定は工場出荷時の設定に戻ります。再度設定を行ってから使用してください。

なお、ファームウェアバージョンが release0423 以降からのバージョンアップの場合は、バージョンアップ作業の前に無線 LAN の設定パラメータをファイル形式で取得することで、バージョンアップ作業後の再設定の一部を簡略化することが可能です。詳しくは「JRL-710・720 シリーズ ユーザーズマニュアル」(jrl-710_720_man_v4.pdf) を参照してください。

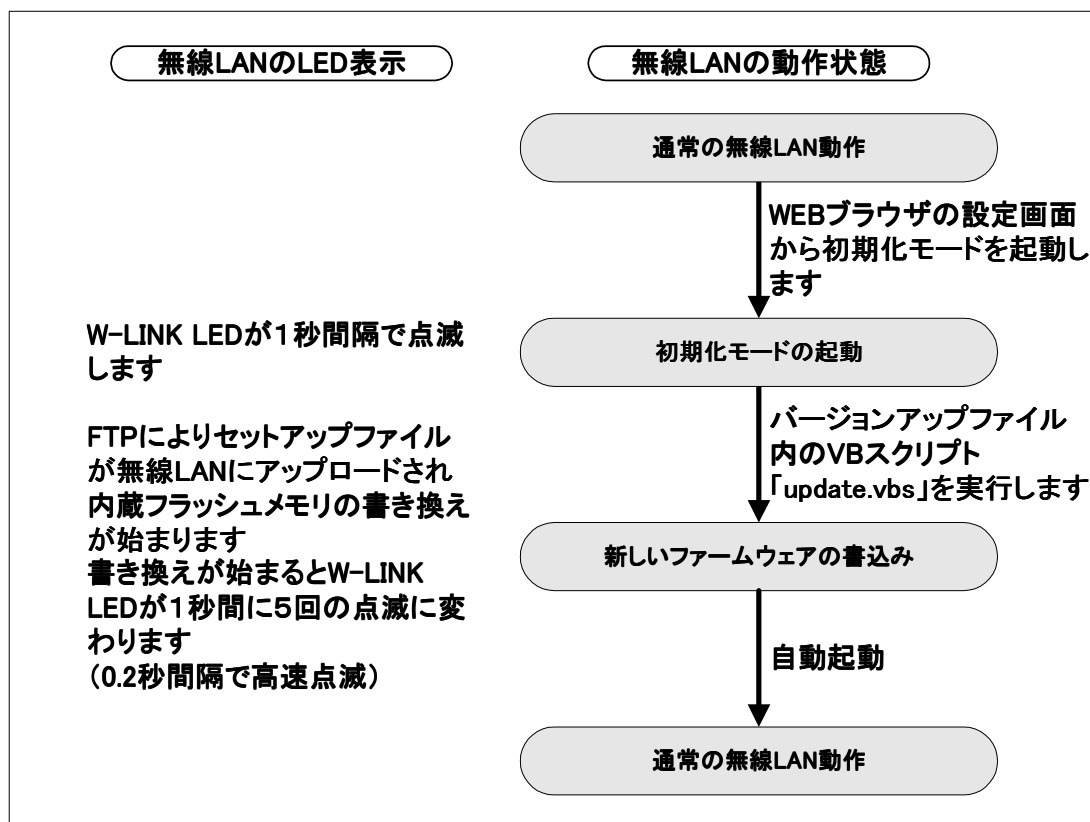


図 2-1 バージョンアップの流れ

初期化モードとは、ファームウェアをバージョンアップするためだけの専用動作モードです。このモードでは、無線LANの「W-LINK」LEDが1秒間隔で低速点滅します。

⚠ 注意

バージョンアップ中は、無線LANの電源OFFなどの操作を絶対にしないでください。ファームウェアの書き込み中に電源OFFすると無線LANが故障し、動作しなくなる恐れがあります。

【手順 1】：

現在のファームウェアバージョンを確認する手順です。

WEB ブラウザを立ち上げて無線 LAN にアクセスします。無線 LAN の IP アドレスが「192.168.1.1※」の場合、WEB ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力すると、無線 LAN と接続されてログインウィンドウが開きます。

WEB ブラウザに一時ファイルが残っている場合は、2 回目以降のログイン時にログインウィンドウを表示せずに次の段階に進むことがあります。

※「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

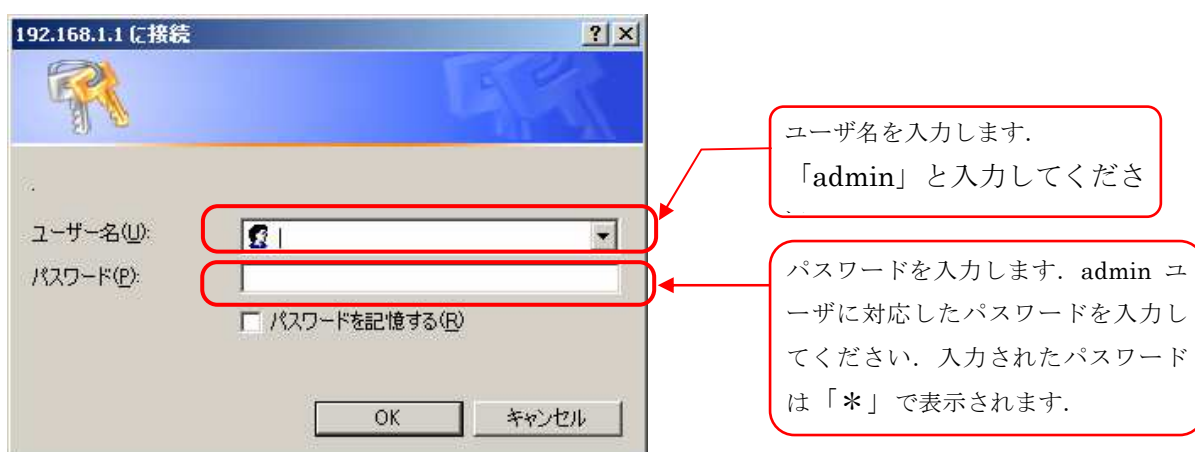


図 2-2 ログインウィンドウ

【備考】

WEB ブラウザは、Internet Explorer 6.0 にて動作を確認しています。他の WEB ブラウザでは表示および動作が異なる場合があります。

ログインが成功すると以下の画面が表示されます。以下の赤枠部分に、現在動作中のファームウェアバージョン番号が表示されます。

⚠ 注意

これからバージョンアップしようとする無線 LAN で既に動作しているファームウェアが release0301 より以前のバージョンである場合は、「JRL-710. 720バージョンアップマニュアル_第1版」を参照ください。

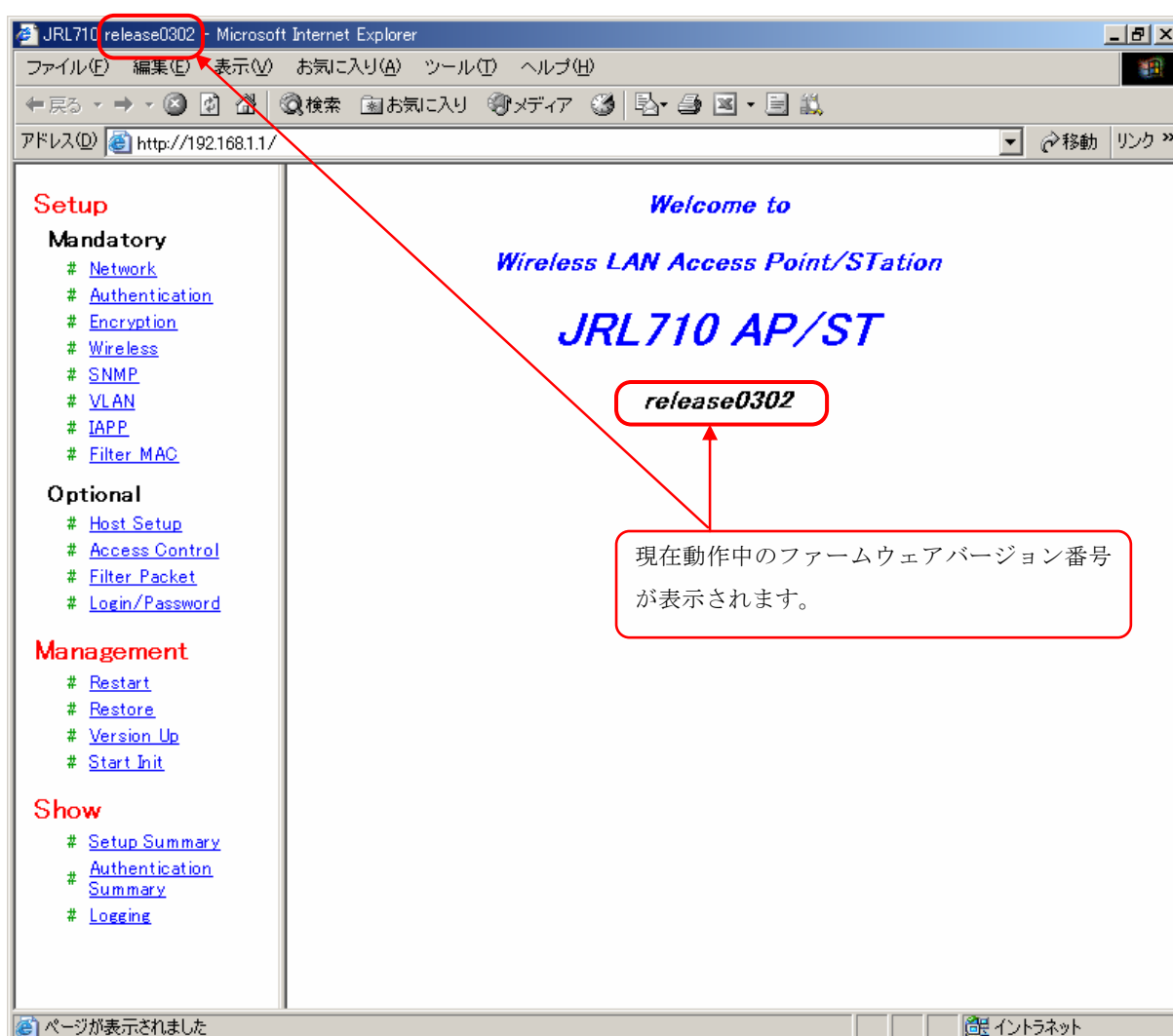


図 2-3 WEB ブラウザでログインした直後の画面

【手順 2】 :

初期化モードのソフトウェアを起動する手順です。

WEB ブラウザの設定画面から無線 LAN を初期化モードで再起動させます。

(再起動には、約 30 秒程かかります。)

以下の赤枠で示した文字列「Start_Init」をクリックすると、初期化モード起動画面に切り替わります。

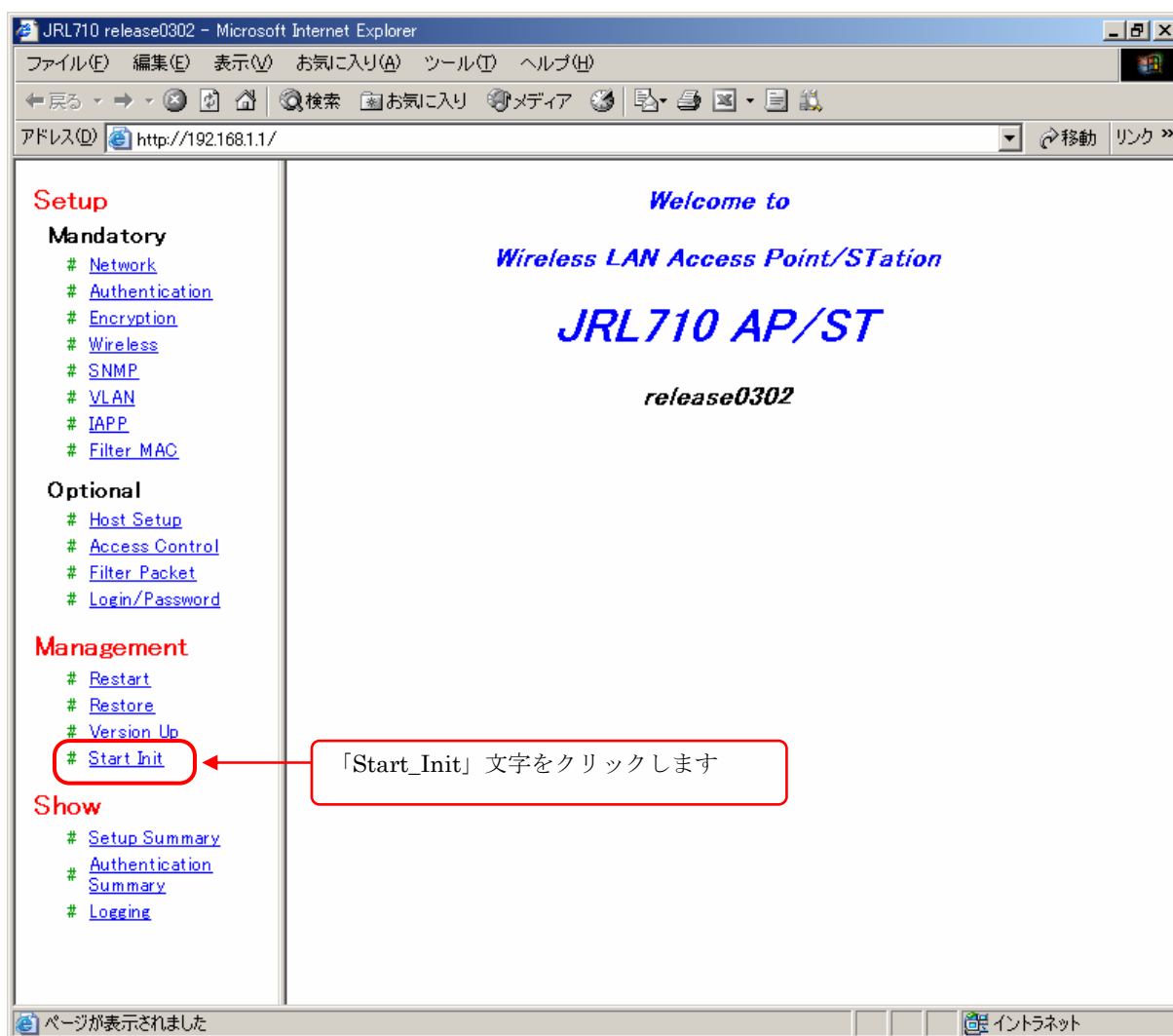


図 2-4 初期化モード起動画面の呼び出し

以下の初期化モード起動画面に示した赤枠部分のボタンをクリックします。

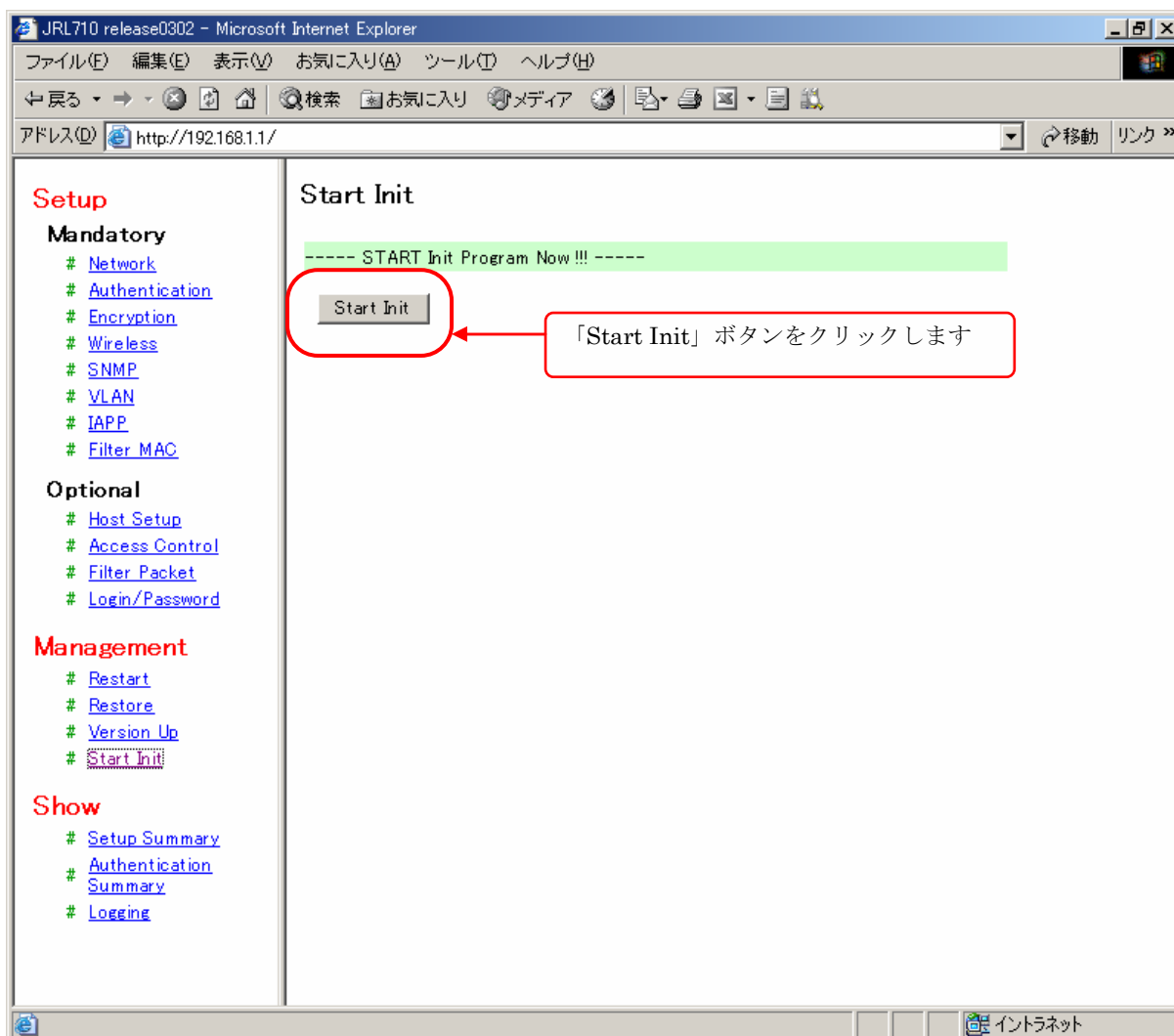


図 2-5 Start Init 画面

以下の確認用ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

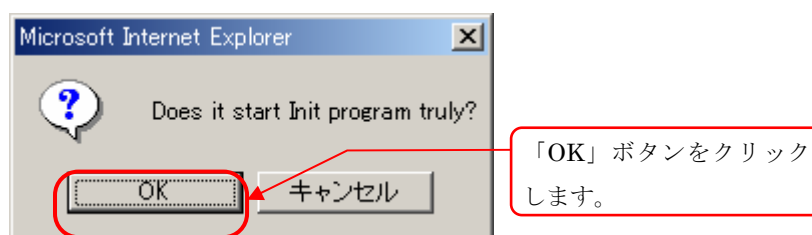


図 2-6 確認用ダイアログ

確認用ダイアログで「OK」をクリックすると以下の画面表示となり、無線 LAN のファームウェアが初期化モードで再起動します。（再起動には、約 30 秒程かかります。）

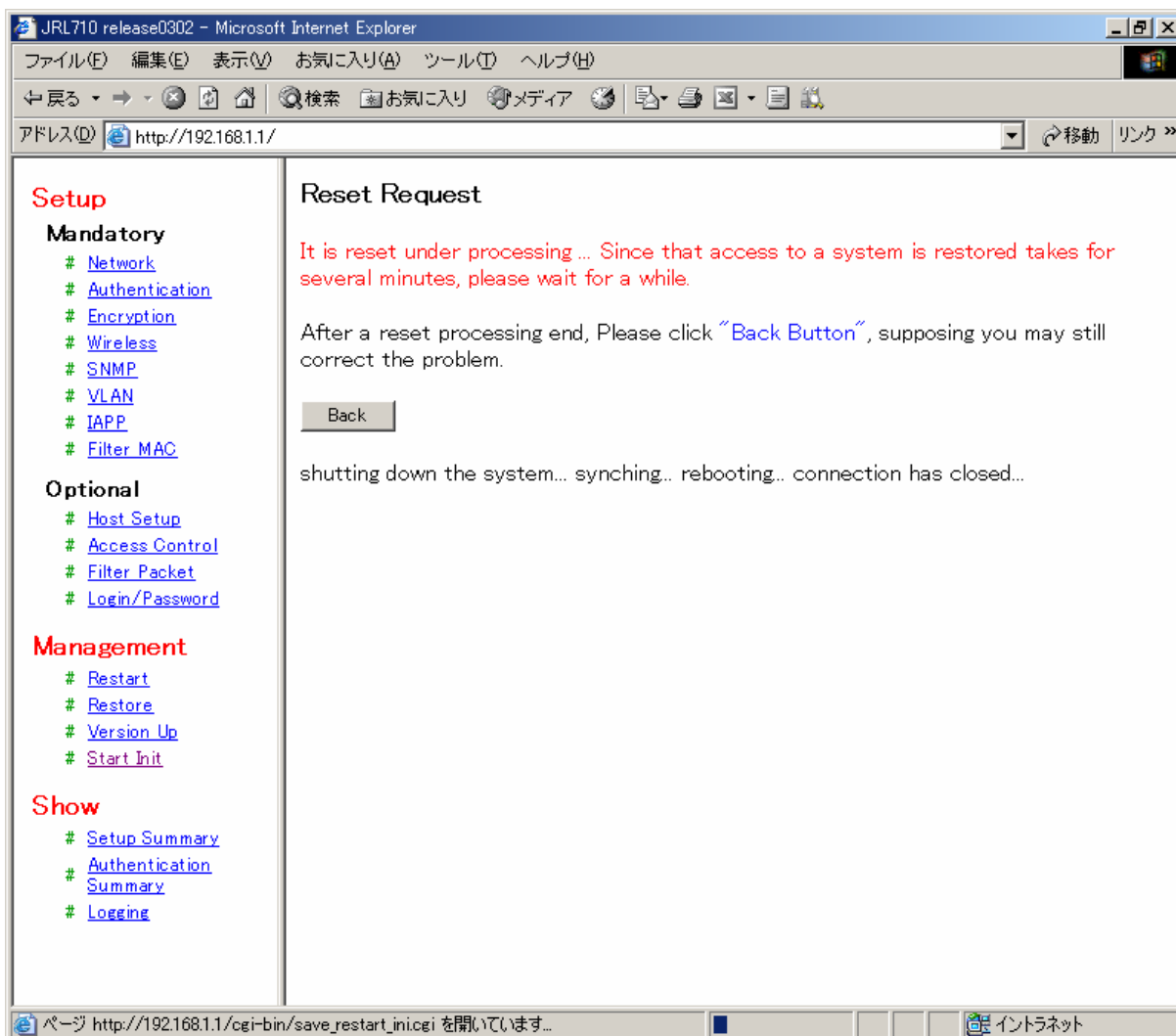


図 2-7 再起動画面

初期化モードが起動すると、無線 LAN の「W-LINK」LED が 1 秒間隔で低速点滅します。

【手順3】：

新しいファームウェアを書き込む手順です。

ここまでの手順により、無線 LAN が初期化モードで起動しています。

(無線 LAN の「W-LINK」LED が 1 秒間隔で低速点滅していることを確認してください)

⚠ 注意

初期化モードで起動していない場合は、以降の手順に進まずに、もう一度【手順1】から作業をやり直してください。初期化モードが起動しない場合は IP アドレスを間違えていないか、IP アドレスが競合し、同じ IP アドレスの他の無線 LAN に対して操作していないかなどを確認してください。

作業用 PC 上で、update_new フォルダを開き、「update.vbs」を実行してください。

※「update.vbs」は VB スクリプトです。作業用 PC が VB スクリプトを実行可能な状態である必要があります。

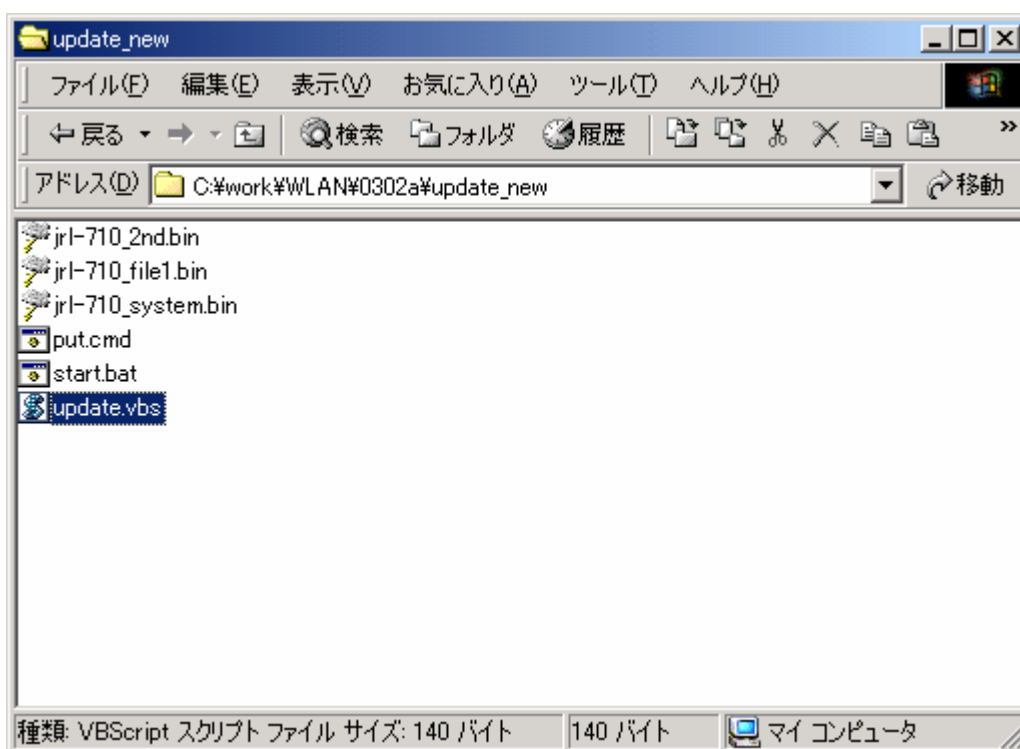


図 2-8 update_new フォルダ画面

表示されたダイアログに無線 LAN の IP アドレスを入力し、「OK」ボタンを押してください。

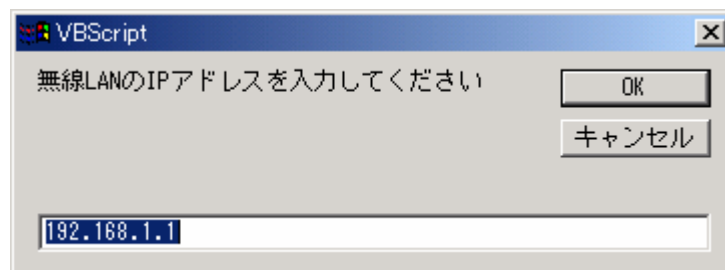


図 2-9 update.vbs 実行 画面

自動的にプログラムファイルの転送、およびバージョンアップが行われます。
バージョンアップ中は、無線 LAN の「W-LINK」LED が 0.2 秒間隔で高速点滅します。
(バージョンアップには、約 4 分程かかります。)

バージョンアップ完了後、自動的に新しいファームウェアで再起動します。
(再起動には、約 30 秒程かかります。無線 LAN の「W-LINK」LED の点滅は終了します。)

最後に【手順 1】の操作で、無線 LAN の IP アドレスに対して WEB ブラウザでログインし、新しいバージョンに更新されたことを確認してください。

⚠ 注意

バージョンアップ後の無線 LAN 設定に関して、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ設定は引き継がれますが、それ以外の設定は工場出荷時の設定に戻ります。再度設定を行ってから使用してください。

なお、ファームウェアバージョンが release0423 以降からのバージョンアップの場合は、バージョンアップ作業の前に無線 LAN の設定パラメータをファイル形式で取得することで、バージョンアップ作業後の再設定の一部を簡略化することが可能です。詳しくは「JRL-710・720 シリーズ ユーザーズマニュアル」(jrl-710_720_man_v4.pdf) を参照してください。

⚠ 注意

バージョンアップ中は、無線 LAN の電源 OFF などの操作を絶対にしないでください。ファームウェアの書き込み中に電源 OFF すると無線 LAN が故障し、動作しなくなる恐れがあります。



<http://www.jrc.co.jp>
(無断複製・転載を禁ずる)

第 2.0 版 2008 年 1 月

編 者 日本無線株式会社
発行者 日本無線株式会社

〒181-8510 東京都三鷹市下連雀 5-1-1
通信機器事業本部カスタマーサービスグループ
E-mail : wlan_support@m1.jrc.co.jp
TEL : 0422-45-9578 FAX : 0422-45-9104
